

# 一步前進

# おおたかの森駅前駐輪場が増設



7月から新設されたおおたかの森駅北第3駐輪場（奥は駅舎）

3月議会に開かれたH29年予算委員会。小田桐市議は、駅前駐輪場の待機状況を事前調査し、「南流山駅及び流山おおたかの森駅の自転車駐車場の待機で1,500人待っている。どのような対応するのか」「平成29年度末で（待機は）なくなるのか」と質問。市担当課は「今後造成工事が進んでいく中で、もっと増加することは確実」とし、「H28年度は南流山駅南側に200台、流山おおたかの森駅は、西口に300台ほど増設した。北口については新年度7月を目途に約200台の駐輪場をつくる予定」と回答。しかし、「増設しても、（待機は）1,000人程度」との答弁には、他の委員も傍聴議員も絶句し、委員会に衝撃がはしりました。

小田桐議員は「（駐輪場を）今平場でつくっている。（待機者）1,000人これからまだまだ増えるので、抜本的に建物化も含めて考えなくてはいけない」と指摘し、改善を迫りました。

また6月議会では、今予算委員会の委員をしていた他会派の議員も一般質問で取り上げ、改善を迫っています。



市議

## 小田桐 たかし



## 市有地活用には駐輪場含まれず

北口駅前で行われている市有地活用には公営駐輪場の確保は含まれず、一方で分譲マンションを建設し、急増する児童生徒数をさらに増やす計画です。拙速にも計画に賛成した議員・会派（H28年12月定例会）の責任はより重いものがあるのではないのでしょうか。

「待機車両1500台」…  
予算委員会に衝撃はしる